

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	秦野つぼみ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 7日		～ 2024年 10月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年 10月 7日		～ 2024年 10月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童に合わせた支援	施設内は、1階が広い支援室、2階が職員室と個別スペースに分かれており、個々の児童の状況に応じて適切な環境で支援を行っています。 専門スタッフである作業療法士が、児童の身体の使い方に関する療育を提供し、個々の発達段階や課題に合わせた支援を行っています。	支援のモニタリングとフィードバックの強化を行い、子どもの成長に応じた柔軟な支援計画の見直しを可能にします。保護者やスタッフとのコミュニケーションが強化され、一体感をもってお子さんと向き合います。
2	駅近の便利な立地	駅近の立地を活かし、バスや電車を利用した外出活動を積極的に実施しています。これにより、児童は公共交通機関の利用方法を学び、社会性を養うことができます。	駅近の利便性を活用して地域の高齢者や他世代との交流イベントを開催します。また駅利用者向けのイベントや地域向けワークショップを企画します。
3	多彩な活動内容	農業体験や野外活動、公共交通機関を利用した外出など、さまざまな体験を通じて児童の成長をサポートしています。また、専門スタッフである作業療法士が、児童の身体の使い方に関する療育を提供し、個々の発達段階や課題に合わせた支援を行っています。	ご家族参加型イベントの拡充をしております。親子での料理教室やスポーツ大会など、ご家族と一緒に楽しめるイベントを増やし、ご家庭との連携を深めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ不足	スタッフの業務量が多く、支援に時間を割く必要がある場合、質の維持が困難である。 スタッフのスキルや専門性にばらつきがある。支援の質が安定しない。	求人活動の強化はもちろん、定期的に職員研修の実施し、障害支援に関する研修会や、コミュニケーションの研修を開催します。
2	ご家庭との連携不足	ご家族へ施設の活動内容や方針を充分説明できておらず、信頼関係が十分に構築されないことがあります。 保護者参加型イベントの参加率が低い場合、保護者との関係構築に課題が生じる可能性。	お子さんの活動や成長の記録、写真や動画などをLINEやインスタグラム等をしようして共有します。 ご家族がいつでも状況を確認できる透明性のある環境を提供いたします。ご家族が参加できるプログラムを強化し、活動を通じて親子関係を深めるだけでなく、事業所への信頼も高められるようにします。
3	評価とフィードバックの不足	活動内容や支援計画の効果を測定する仕組みが不足しているおり、改善の機会を逃している。 保護者や利用者からのフィードバックを十分に反映できておらず、満足度が低下する可能性がある。	定期的に支援計画の進捗を確認、定量的な評価(例:目標達成率)を記録します。ご家庭にも進捗報告書を共有し、フィードバックをいただきます。スタッフと会議の頻度を高め、事例や課題を共有。他のスタッフからのフィードバックを受け、支援方法を改善します。